

■ 公園・広場・緑地機能について

社会環境

- ・人口減少時代の中、地方都市は、活力ある地域づくりのため、都市としての魅力を高めることが求められている。魅力的な公園や広場、緑地づくりは、そのために創意工夫できることの一つである。
- ・公園・広場・緑地には、ライフステージに応じて活用できる多様な空間やコミュニティ活動の場としての活用など幅広いニーズがある。

福山市の状況

現状と課題

- ・大規模な公園の整備水準は中核市平均を大きく下回る。総合公園 (0.84 m²/人⇔中核市 1.91 m²) 運動公園 (0.51 m²/人⇔中核市 0.92 m²)
- ・市民が憩い、安らげる芝生のある公園が少ない。
- ・今ある公園などの役割を再度見つめ直した上で、それぞれのコンセプトを再構築する必要がある。

【主な公園整備状況】

名称	主な利用者層	規模(ha)	概要
ファミリーパーク	子ども連れ	9.4	大型複合遊具、くじゃく園、しか園、展望塔がある家族向けの公園。
富谷公園 (富谷ドームランド)	子ども連れ	1.47	福山市立動物園に隣接する大型複合遊具が設置された児童公園。
福山城公園	観光客・多世代	11.55	福山駅北側の福山城跡を整備した公園で、園内には天守閣内の福山城博物館、ふくやま美術館、県立歴史博物館、テニスコート、多目的広場等が整備されている。風致地区に指定されている。
緑町公園	多世代	8.06	市の中心部に位置し、備蓄倉庫等の防災設備が整備された広域避難場所に位置付けられている。公園内には屋内競技場(ローズアリーナ)が整備されている。
春日池公園	多世代	15.63	春日池を囲むように整備された公園で、ばら園、菖蒲園、ウォーキングコース、複合遊具等が整備されている。
竹ヶ端運動公園	多世代	16.30	陸上競技場、運動場、野球場、水泳場、弓道場、テニスコート、水上スポーツセンター、漕艇場などの施設が整備されている。
福山メモリアルパーク (遊園地を含む)	多世代	3.30	わんぱく広場、ゴーカート、プール、アイススケート場、ピクニック広場等が整備されたスポーツレクリエーション施設が充実した公園。
中央公園	学生・高齢者	1.61	市の中心部に位置し、公園内には中央図書館が整備されている。
ばら公園	観光客	1.50	市の中心部に位置し、世界各国の数多くのばらが植えられている。

今後の方向性

- ・都市人口1人当たりの都市公園面積 6.55 m²/人 (2012年度) → 目標 8.0 m²/人 (2016年度)
- ・自然と調和した環境づくりの推進 (憩いの森や緑地の管理、都市公園の整備、水辺空間の保全と創出)
- ・大規模な公園等において、多様な市民参画の手法 (ワークショップなど) を取り入れた協働による施設整備・管理
- ・市民が愛着と誇りを持てる公園づくり
(参照) 第四次福山市総合計画、福山市緑の基本計画

市民ニーズ (市民アンケートより)

- 市の魅力と課題
公園・緑地が充実している
…課題と感じている人 39.4%
- 求める機能
公園・広場・緑地 42.7% (1/17位)
- 求める具体施設
公園、広場 (芝生・ステージ・キャンプ・ドッグラン・遊具等)、花園、庭園 (ばら・イルミネーション等) 等

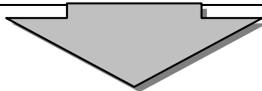
懇話会意見

- 芦田川に隣接し、水辺と一体化した心地良さ、自然の資源がある。
- 水辺空間と結び付けて、周辺住民の憩いの場、魅力的な空間を作る。
- 自然を活かして土地の魅力を引き出す。
- 子育て世代や高齢者に優しい公園を作り、そこを中心に市民が憩える場。
- 市民が緊急避難できる総合運動公園

■ スポーツ・健康機能について

社会環境

- ・2020年東京オリンピックの開催が決定し、今後、スポーツ振興の高まりが期待される。
- ・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進。
- ・健康・体力づくりへの国民の関心の高まり。(健康寿命の延伸、生活習慣病対策)



福山市の状況

現状と課題

- ・市内には屋内9施設、屋外50施設、合わせて59の社会体育施設が整備されている。
- ・平均供用年数は約28年と全般的に老朽化が進行している。全体の6割以上が30年を経過しており、老朽化への対応が急務となっている。(社会体育施設の再構築が必要)

	市内の施設 (施設数/人口あたり面積・面数)	中核市平均(2012) (施設数/人口あたり面積・面数)	近隣の大型施設
体育館	5カ所/53.8㎡(1000人あたり)	7.0カ所/51.9㎡(1000人あたり)	岡山県総合グラウンド体育館

<体育館>

- ・市内の体育館施設は現在5館(緑町公園屋内競技場、福山市体育館、沼隈体育館、新市スポーツセンター、障害者体育センター)あり、中核市平均の7館(2012年)よりやや不足している。
- ・大規模大会を開催できる屋内体育館が不足している。(競技団体全体の希望達成率89%)
- ・市体育館は築45年が経過し、老朽化が進行している。耐震性や規模等様々な課題を抱え、建替えが必要である。
- ・緑町公園屋内競技場は、夏季はプールとして使用するため、市を代表するアリーナとして位置付けられない。

<その他>

- ・本市の強みの一つである芦田川の広大な自然環境を十分に活用しきれていない。
- ・市民が気軽にスポーツや健康づくりを行える場の整備が望まれる。

今後の方向性

- ・生涯スポーツの推進、競技スポーツの強化、スポーツレクリエーション施設の整備
 - ・福山市体育館を廃止し、全市的位置づけの新たな総合体育館の整備に向け、検討を進める(緑町公園屋内競技場の機能の整理も含む)。
 - ・健康寿命の延伸に向け、地域で取り組む健康づくりを推進していく。(歩く機会の場、運動・スポーツを生活の中に取り入れる。)
- (参照)第四次福山市総合計画、福山市スポーツ振興基本計画、福山市社会体育施設基本計画

市民ニーズ (市民アンケートより)

- 市の魅力と課題
スポーツを楽しめる場所や機会の充実
…課題と感じる人 46.0%
- 求める導入機能
スポーツ・健康機能 32.1% (3/17位)
- 求める具体施設
体育館(市立体育館)、スポーツセンター、運動公園、サッカー場、プール、テニスコート等

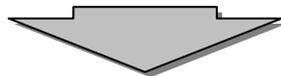
懇話会意見

- スポーツ施設の環境整備が必要
- 気楽に利用でき、多目的なイベントにも対応できる体育館の整備(西日本一、国際レベルのものを検討して欲しい)
- 将来的に芦田川左岸にサイクリングロードを整備するなど長期的な視点も必要

■ 賑わい・集客機能について

社会環境

- ・観光ニーズの多様化（物見遊山・金銭消費型観光から体験型・時間消費型観光へ）。
- ・外国人観光客の増加と観光立国の推進。
- ・消費者のニーズ、価値感、ライフスタイルの多様化など、商業・サービス業を取り巻く環境は大きく変化している。
- ・人口減少等による国内マーケット縮小への対応策が必要となっている。



福山市の状況

現状と課題

- ・山陽自動車道や西瀬戸自動車道に加え、尾道松江線の全線開通が控えるなど高速自動車道が整備されている。
- ・JR 福山駅にのぞみ号・さくら号が停車する。
- ・鞆の浦、福山城など豊富な地域資源を有効に活用し、交流人口の増加を図る必要がある。
- ・鞆の浦は近年、大河ドラマやハリウッド映画などのロケ地にも選定されており、脚光を浴びている。
- ・観光などで福山を訪れた人の滞在時間を延長させる受け皿の整備（特色のある商業機能の強化や観光情報発信の充実など）が求められている。
- ・商圏人口は広島県東部地域及び岡山県西部地域を合わせて約 80 万人。
- ・駅前百貨店、専門店等の苦戦が目立つ一方で、郊外部にはフジグラン神辺などのショッピングセンター、大型専門店等が立地しており、賑わいをみせている（全国的な傾向と同様）。

今後の方向性

- 観光客誘致の促進（観光情報発信・都市観光宣伝の推進、外国人観光客誘致の推進、コンベンション誘致の推進）
 - 受入環境の整備・充実（ボランティア育成、観光施設整備・充実、観光関連産業との連携強化、外国人観光客の受入体制の整備）
 - 特色ある商業・サービス業の創出（小売・サービス業の活性化支援、卸売業の活性化支援特色のある店舗づくり や異業種との連携などの促進）
- （参考）第四次福山市総合計画、福山市観光振興ビジョン、福山市産業振興ビジョン

市民ニーズ（市民アンケートより）

- 魅力と課題
 - ・娯楽・レジャー施設が充実している
…課題と感じている人 59.8%
 - ・商業施設が充実している（買い物が便利）
…課題と感じている人 29.7%
- 導入機能
 - ・「観光機能」…14.8%（7/17 位）
 - ・「商業機能」…29.9%（4/17 位）
- 求める具体施設
 - ・「観光機能」…科学館、道の駅、物産館等、
 - ・「商業機能」…ショッピングセンター、アウトレット、その他大型商業施設

懇話会意見

- 鞆の浦と連携できるような工夫が必要
- 福山のイメージを高め、世界に発信できる、シンボリックなものが欲しい。
- 100万本のばらの植樹。
- 福山城のように長く愛される場所。子孫が使い、観光資源として売り込めるもの。
- 時のブームに乗るような施設は避ける。
- 福山には出かけたくなるような魅力的な場所が少ない。買い物は広島・岡山・倉敷に出かけている。市民が行きたくなるような場所や魅力ある商業施設も必要。
- 大型の商業施設は持ってくるべきではない。（中心市街地の課題）

創造・交流機能について

社会環境

- ・観光庁による MICE（企業等の会議(Meeting)、報酬・研修旅行(Incentive Travel)、展示会・見本市(Convention)、文化的催しなどイベント(Event))の推進。
- ・コンベンション誘致は多岐にわたる経済効果や地域活性化が期待されるため、全国の自治体が積極的に取り組んでいる。
- ・グローバル化の進展により、外国人との交流機会が増加している。 など

福山市の状況

現状と課題

- ・今年度から、コンベンション誘致の取組を強化している。
- ・コンベンション開催状況 2013年度 31件(予定含む)、参加人数 約4万人
- ・スポーツ大会以外の主なものとしては、全日本合唱コンクール(4,000人)、脳神経外科学会(1,500人)など、500人以上のイベントは年6回の開催となっている。
- ・市内で500人以上を収容可能な会場としては、「リーデンローズ(2,003席)」、「ニューキャッスルホテル(1,200人)」、「県民文化センターふくやま(530席)」、「アルセ(500人)」がある。
- ・専用施設として「県立ふくやま産業交流館(ビッグローズ)」が整備されており、中四国地方で最大級の展示ホール(4,476㎡)を有している。
- ・ビッグローズは、経済活動の低迷や立地の影響等により、稼働率が3~4割程度と低利用で推移しており、有効活用が求められる。
- ・MICEの誘致は、大きな経済波及効果が期待できるが(1万人規模の国際会議で39億円)、市内の宿泊機能を考慮すると難しい。市内の宿泊機能：収容人員4,055人(34施設)
- ・使い勝手の良い会議スペースが不足している。
- ・生涯学習や市民活動の拠点となる施設として、各地域の市民(交流)センターや生涯学習プラザ(ローズコム)、市民参画センター等が整備されている。今後、エフピコRiM内にも市民交流の場が整備される予定。
- ・アジア各国からの研修生等が増加しており、多文化共生の社会の推進が求められている。
- ・ふくやま国際交流協会で、異文化交流事業、研修・講習会などを行っている。

今後の方向性

- ・国際交流の推進、多文化共生の推進(コミュニケーション支援、異文化に対する相互理解、外国人市民の社会参加)
- ・観光コンベンション協会による、コンベンションの充実が求められる。
- ・市民主役のまちづくりの推進
(参考)第四次福山市総合計画、第二次福山市協働のまちづくり行動計画、福山市国際化推進プラン

市民ニーズ (市民アンケートより)

- 市の魅力と課題
地域コミュニティ活動が活発である
…課題と感じている人 30.0%
- 求める機能
 - ・コンベンション機能 21.6% (5/17位)
 - ・市民交流機能 11.6% (8/17位)
 - ・国際交流機能 2.1% (16/17位)
- 求める具体施設
 - ・コンベンション機能…イベント、コンベンション会場、ドーム、コンサートホール
 - ・市民交流機能…多目的施設、市民交流の場、ギャラリー
 - ・交流機能…領事館

懇話会意見

- 福山のイメージを高め、世界に発信できる、シンボリックなもの
- 福山には大規模な会議を開催できる施設がない。
- 人が集い、会議ができるような施設
- 流通センターやコンベンションセンターを整備し、地域に人を呼び込んで活性化できないか。
- コンベンションセンター(ビッグローズ)はあるが、現状は厳しい。見本市等は季節による偏りがあり、地方都市では難しい。

■ 産業支援機能について

社会環境

- ・経済のグローバル化による、産業空洞化や中小企業への影響が懸念される。
- ・国際競争力を持った産業の育成、国際感覚豊かな人材育成が急務となっている。
- ・国は成長戦略（日本再興戦略）の中で、産業支援策に積極的に取り組んでいる。

福山市の状況

現状と課題

<産業の動向について>

- ・全国平均と比較して製造業の割合が高い（事業所数：12.3%（全国 8.9%）、従業者数：20.5%（全国 18.3%））
- ・製造品出荷額が高い業種は鉄鋼業（52.9%）、食料品製造業（7.5%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業（6.6%）、輸送用機械器具製造業（5.4%）等となっているが、次の時代を見据えた新事業の創出（他領域との連携）が課題
- ・事業所数（23千社）は中核市平均（19千社）よりも多いが、近年減少傾向（2006年度、24千社）
- ・オンリーワン・ナンバーワン企業が多く立地しているが（71社）、国際競争力のある産業の育成や技術の伝承が課題。
- ・企業における国際取引や海外進出の増加（海外に進出している企業・事業所の数：46社、117事業所）

<産業支援について>

- ・福山商工会議所等において、中小企業を対象とした産業支援を実施している。（ビジネス交流会・講演会・研修会等の開催、産業支援コーディネートなど）
- ・「福山市産学官連携推進懇話会」を設置し、情報共有・意見交換を行う中で、効果的な産学官連携の仕組みづくりに取り組んでいる。
- ・助成事業により、企業と大学等との研究開発を支援しているが、産業競争力の強化に結び付く支援を充実させる必要がある。

今後の方向性

- ・企業立地環境の充実（企業立地促進体制の充実、立地環境の整備）
- ・地域産業の振興（経営基盤強化の支援、起業・創業の支援、新事業開発の支援）
- ・産学官連携による産業振興（産学官連携・企業間連携の支援、中小企業の事業展開・人材育成の支援）
（参照）第四次福山市総合計画、福山市産業振興ビジョン

市民ニーズ（市民アンケートより）

- 市の魅力と課題
 - ・多種多様な製造業が集積している
…課題と感じる人 24.1%
 - ・働く場が十分に確保されている
…課題と感じる人 46.0%
- 求める機能
 - ・産業支援 6.6%（12 / 17 位）
- 求める具体施設
企業誘致、大学誘致、産業支援施設 等

懇話会意見

- 福山は中小企業のものづくりのまちであり、オンリーワン、ナンバーワンのものづくりがたくさんある。
- オンリーワン企業が多い一方で、十分に力を発揮できていない。
- ものづくりに役立つ研究施設や試験場
- ものづくりや新しい産業創出の拠点

■ 教育機能について

社会環境

- ・少子化や人口減が進む将来に向けて、優秀な人材を確保するための環境整備が必要である。
- ・グローバル化が進む中、国際的に活躍できる人材の育成が必要である。
- ・義務教育9年間を一体的に捉えた小中一貫校の設置が全国で進む

福山市の状況

現状と課題

- ・小学校・中学校・高等学校の人口当たりの学校数は多い。
- ・小学校・中学校の教員1人当たりの児童・生徒数は、中核市平均とほぼ同水準、広島市と比較して少ない。

<小学校, 中学校, 高等学校の状況>2012年5月1日現在 (広島市のみ2011年5月1日現在)

	人口10万人当たり学校数(箇所/10万人)			教員一人当たり児童数・生徒数(人)	
	小学校	中学校	高等学校	小学校	中学校
福山市	17.8	9.0	5.5	15.93	14.78
中核市 平均	13.4	7.1	4.1	16.68	14.36
広島市	12.4	6.5	3.8	20.00	17.71

- ・中・高一貫教育の推進。
- ・2015年度からは小中一貫教育を本格実施する予定である
- ・大学は、3大学(福山大学, 福山平成大学, 福山市立大学)あるが、中核市平均(5箇所(短大含む)), 倉敷市(9箇所(同))と比べて少ない。高等教育機能が同規模都市に比べて弱く、強化が必要。
- ・専修学校(医療, 福祉, 美容等の専門学校)は2012時点で12校(生徒数1,794人)ある。
- ・福山職業能力開発短期大学校「ポリテックカレッジ福山」では、生産技術, 電気エネルギー制御, 電子情報技術の3科で、実践技能者(テクニシャン・エンジニア)の育成を目指すとともに、中小企業事業主等への支援も行っている。

今後の方向性

○まちづくりを担う人づくり

- ・確かな学力をはぐくむ学校教育の推進
- ・小中一貫教育の推進
- ・安全・快適な学校施設づくりの推進

○高等教育機能の充実

- ・産業支援との結びつきの強化

(参照) 第四次福山市総合計画, 福山市教育振興基本計画, 福山市学校教育ビジョンIV

市民ニーズ (市民アンケートより)

○市の魅力と課題

教育環境が充実している

…課題と感じている人 28.7%

○導入機能

教育機関 6.0% (13/17位)

○求める具体施設:

福山市立大学に看護科の設立, 看護学校など

懇話会意見

- 不足している看護師やコメディカルの養成は若者の教育という観点からも考えられる。
- 福山市は看護師不足が深刻なため、跡地でというわけではないが医療従事者の養成機能の整備が必要

■医療・福祉機能について

社会環境

- ・超高齢社会の中、より高度で多様な医療・福祉機能の必要性が高まっている。
- ・疾病の治療から、予防・リハビリテーション・介護を一貫して行う包括ケアシステムの構築が求められている。
- ・超高齢者社会に対応した介護予防・地域福祉の推進が求められる

福山市の状況

現状と課題

- ・現在の人口は約 47 万人、うち高齢者（65 歳以上）は約 11 万人（24.3%）だが、2040 年には人口が約 39 万人（減少率 16%）、高齢者が約 14 万人（割合 36.3%）（増加率 30%）となると推計されている。
- ・高齢者人口に占める要介護（要支援）認定者の割合は、2000 年の 11.9%から、2020 年には、22.0%になると予測されている。
- ・2011 年の死因順位は、1 位が悪性新生物で全死亡者数に占める割合は 28.5%、2 位が心疾患で 15.5%、3 位が肺炎で 9.9%、4 位が脳血管疾患で 9.9%となっている。
- ・人口当たりの病床数、医師数とも中核市平均を下回る（1,238 床/10 万人（中核市平均 1,780 床/10 万人）、202 人/10 万人（同 277 人/10 万人））。
- ・福山市民病院が地域がん診療連携拠点病院（国指定）に、福山医療センター・中国中央病院が広島県指定がん診療連携拠点病院に指定されている。
- ・市中心部のリハビリ施設は、高齢者の増加に伴い、今後充実させる必要がある。
- ・介護福祉施設については、地域密着型サービスの介護事業所等が充実している。

今後の方向性

- 地域医療体制の充実
- 高齢者を地域で支え合うまちづくり
- 介護予防の推進と暮らしを支えるサービスの提供
- 障がいのある人が健やかに過ごせるまちづくり

（参照）総合計画、広島県保健医療計画 地域計画（福山・府中二次保健医療圏）、福山市高齢者保健福祉計画 2012、福山市障がい福祉計画

市民ニーズ（市民アンケートより）

- 魅力と課題
高齢者、障がい者が暮らしやすい環境が整っている
…課題と感じている人 41.7%
- 求める導入機能
 - ・医療機関：10.9%（9/17 位）
 - ・介護福祉機能：10.5%（10/17 位）
- 求める具体施設
 - ・医療機関：総合病院、小児専門医療機関など

懇話会意見

- 放射線分野のパイオニアである企業が福山に工場を持っているので、放射線治療施設は良いアイデアと思う（津山市に出来るので難しいかもしれないが）
- 西日本のセンター的なリハビリセンターが整備できれば、若い人材を集められる。ものづくりへと裾野も広がる。
- 看護師などコメディカルの人材の養成が必要

■ その他の機能（芸術・文化機能）について

社会環境

- ・余暇の過ごし方が多様化し、質の高い芸術・文化に接する機会が増加。
- ・金沢 21 世紀美術館など施設や運営面で特徴のある施設は高集客・高稼働。
- ・指定管理者制度や PFI 等により、ホールや美術館で民営を含め運営組織が多様化。

福山市の状況

現状と課題

- ・ホール施設が 9 施設あり、市民千人あたり収容定員は 11.2 席と中核市平均（7.7 席）よりも多い。
- ・美術館等の文化施設が 11 施設あり、中核市平均（5.3 施設）よりも多い。
- ・リーデンローズは 2,003 席の大ホールと 312 席の小ホールで構成されており、中国地方でも有数の規模の施設といえる。
- ・相応の負担を伴いながら高集客・高稼働につなげている施設にみられるような特徴は足りない。
- ・民間施設も含めると多様な文化施設が揃っている。

<主なホール施設>

- ①リーデンローズ（大ホール：2,003 席，小ホール：312 席，1994 年）
- ②神辺文化会館（大ホール：850 席，中ホール：280 席，1996 年）
- ③沼隈サンパル（500 席，1989 年）

<主な文化施設>

- ④ふくやま美術館（中央，7,007 m²，1988 年）
- ⑤広島県立歴史博物館（中央，8,941 m²，1989 年）
- ⑥ふくやま文学館（中央，1,40 m²，1999 年）
- ⑦福山城博物館（中央）
- ⑧福寿会館（中央）
- ⑨福山書道美術館（中央，2003 年）
- ⑩ぬまくま文化館（南部，1988 年）
- ⑪鞆の浦歴史民俗資料館（南部，1,311 m²，1987 年）
- ⑫しんいち歴史民俗博物館・あしな文化財センター（北部，1985 年）
- ⑬菅茶山記念館（北東，1992 年），
- ⑭神辺歴史民俗資料館（北東，1979 年）

今後の方向性

- ・文化活動の振興（文化活動の促進，文化活動を支える環境の整備）
- ・文化財の保護と活用（歴史文化の調査と資料収集，文化財の保存・管理と活用）
（参照）第四次福山市総合計画，福山市教育振興基本計画

市民ニーズ（市民アンケートより）

- 市の魅力と課題
芸術・文化に触れ合い，活動できる場所・機会が充実している
…課題と感じている人 39.3%
- 求める機能
芸術・文化機能 19.1%（6/17 位）
- 求める具体施設
文化会館，公会堂，茶道会館，現代美術館，芸術教育村など

懇話会意見

- 賑わいを生むための文化的な施設と商業施設の共存
- 体育館，文化会館などたくさんあるが，将来も含めて利用勝手が良いように集約するのか政策判断が必要

■ その他の機能（商業機能）について

社会経済情勢

- ・自動車社会の進展によって、暮らしの場の中心は、地域に根ざした商店街から郊外の大規模集客施設等に移行している。
- ・まちの暮らしやすさの向上や中心市街地の活性化等を目的にコンパクトシティの形成が進められている。

福山市の状況

現状と課題

- ・商圏人口は広島県東部地域及び岡山県西部地域を合わせて約80万人。
- ・駅前の商業施設は相次ぐ閉店など、苦戦が目立つ一方、郊外は新規開業等で賑わいをみせている。
- ・大規模小売店舗の立地数（82店舗）は中核市平均（66店舗）を上回る。
- ・倉敷市をはじめ近隣都市における大型商業施設の立地競争が、福山市の商業にも影響を与える可能性がある。

【市内の主要な施設の状況】

- ・福山駅前では、1990年代後半以降ビブレ、そごう、ダイエー、CASPA、ロッツ等が相次いで閉店している。
- ・周辺地では、ポートプラザ、ゆめタウン、フジグランなど各地域に大型ショッピングセンターが立地している。

時期	動向	備考
1999年	福山ビブレ閉店	閉店後改装し、現在はホテル、SOHOオフィス等の複合ビル
	ポートプラザ日化開店	日本化薬工場の跡地開発
2000年	福山そごう閉店	市が建物を取得
2003年	福山そごう跡に福山ロッツ開店	天満屋グループが市より賃借(10年契約)
2005年	ダイエー福山店閉店	西館跡地は高層マンション、東館はテナントビル
	フジグラン神辺開店	道上土地区画整理事業
2006年	伊勢丘ショッピングモール開店	JFE社宅の跡地開発
2007年	さんすて福山リニューアル	-
2008年	フレスポ神辺モール開店	-
2010年	ココローズ開店	ウエルサンピア福山(厚生年金健康福祉センター)の跡地開発
2011年	ines FUKUYAMA開店	東桜町地区第一種市街地再開発事業
2012年	1月/CASPA閉店	-
2013年	4月/福山ロッツ閉店	契約継続せず
	9月/福山ロッツ跡にRIMふくやま開店	大和情報サービスが賃借(5年契約)。商業以外も順次開店

駅前で開店した施設
 駅前で閉店した施設

今後の方向性

- ・特色ある商業・サービス業の創出（小売・サービス業の活性化支援、卸売業の活性化支援）
 - ・消費者ニーズに対応する提案型商業の創出
 - ・新たな中心市街地活性化基本計画の推進
 - ・地域住民・地場産業・大学との協力・連携体制の強化
 - ・若手経営者の育成機能の充実
- (参考) 第四次福山市総合計画, 福山市産業振興ビジョン

市民ニーズ (市民アンケートより)

- 魅力と課題
商業施設が充実している（買い物が便利）
…魅力と感じている人 21.5%
課題と感じている人 29.7%
- 求める機能
商業機能 29.9% (4/17位)
- 求める具体施設
ショッピングセンター, アウトレット, 大手スーパー, 百貨店, その他大型商業施設 等

懇話会意見

- 福山には出かけたくなるような魅力的な場所が少ない。買い物は広島・岡山・倉敷に出かけている。
- 栄えているのはフジグラン辺りだけで、駅の南側には殆どない。
- 駅前の空洞化を避けつつ、うまく補完し、発展できるように考える視点が必要。
- 市民が行きたくなるような場所を。魅力ある商業施設も必要。
- 商業施設は持つてくるべきではない。

■ その他の機能（居住・宿泊機能）について

社会経済情勢

- ・都市生活者のライフスタイルは「環境」「安心・安全」「健康」を重視したものに变化している。
- ・ホテル市場は、国内や海外からの観光客の増加等の影響により徐々に回復基調にある。

福山市の状況

現状と課題

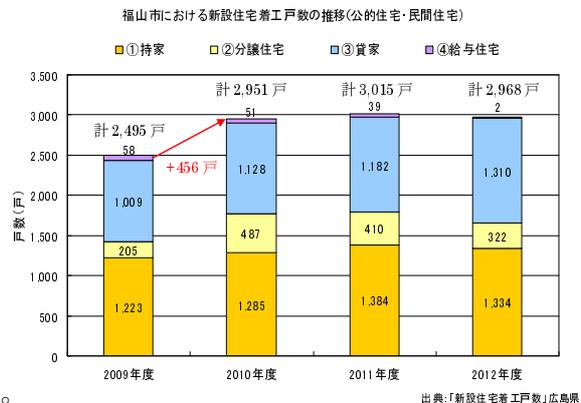
- ・住宅市場は堅調に推移している
- ・福山市における2012年度の新設住宅着工戸数は2,968戸となっている。約3,000戸と同水準で推移している。

【民間住宅・分譲地】

- ・新設住宅着工戸数のうち、民間住宅（2,550戸）について形態別に分類すると、一戸建が約65%、共同住宅が約35%となっており、一戸建では持家・分譲がほとんどを占めているのに対して、共同住宅では貸家が多い。
- ・現状では、スマートタウンの整備は少ない。

【ホテル】

- ・市内の宿泊機能（34施設、4,055人）
- ・客室稼働率は上昇傾向にあり、2012年度は61.8%と2007年度から約17ポイント上昇しているが、依然として低い。
- ・跡地は駅から離れた場所であるため、ホテルの進出は厳しい状況である。



今後の方向性

○だれもが安心して快適に暮らせる住環境が整備されたまち

- ・住宅・宅地の適切な確保（居住ニーズに配慮した住宅の供給，民間の宅地開発の指導）
- ・利便性の高い市街地の形成（地域の核となる地区における住宅・商業などの複合的な土地利用の推進）
- ・環境に配慮した住宅供給
- ・福祉に配慮した居住環境の提供

○協働で取り組む自然と人が調和したまちづくり

- ・地球・地域環境の保全（省エネルギー対策と再生可能エネルギーの普及・促進） など
- （参照）第四次福山市総合計画，福山市都市マスタープラン，社会資本総合整備計画（地域住宅計画），福山市産業振興ビジョンなど

市民ニーズ（市民アンケートより）

- 市の魅力と課題
治安が良く、安心して暮らせる環境が整っている
…魅力と感じる人 14.0% 課題とを感じる人 21.2%
- 求める機能
・コンベンション機能 21.6%（5/17位）
・マンション・住宅 2.7%（15/17位）
- 求める具体施設
マンション，住宅，都市型ホテル 等

懇話会意見

- 高齢者を持つ家庭が増え，血縁・地域関係が希薄化
- 高齢者がいきいきと暮らせる住環境
- 安心して子育てができる住環境
- 少子高齢化時代のモデルとなるような都市
- 若いファミリー層や中高生のためのまちづくり
- 家庭を持った時に住み続けようと思える街，若者が帰ってくる街
- 大規模な会議を開催する場合，宿泊施設が不足

■ その他の機能（子育て支援機能）について

社会経済情勢

- ・少子化の進行，女性の職場進出が進んでいる。
- ・核家族化や地域のつながりの希薄化などに伴う，子育ての負担感（不安，孤立感）が懸念される。
- ・「子ども・子育て関連3法」に基づき，包括的・一元的な「子ども・子育て支援新制度」が2015年度からスタートする。

福山市の状況

現状と課題

- ・保育所数が多く，待機児童ゼロを継続している
- ・幼稚園数は53箇所あり，全国や広島県，中核市平均と同水準。
- ・人口に占める子どもの割合が14.4%であり，全国や広島県，中核市平均と比較して高い（全国13.2%，広島県13.5%，中核市平均13.7%，全国と広島県は2010年国勢調査による）。
- ・2011年に子育て支援の人材育成機能を有する教育学部を擁する福山市立大学が開学した。
- ・2012年には，発達に課題のある児童とその家族が地域で安心して暮らすことができるよう，広域的な支援拠点として，こども発達支援センターを開設した。
- ・エフピコRiMのテナントとして子育て関連施設が集積しつつある。
- ・保育所制度は充実しているが，子どもを連れて遊びに行く場が十分でない。

今後の方向性

- ・**安心できる母子保健の推進**（妊娠・出産期の支援，乳幼児期から思春期までの保健対策，楽しい育児，小児医療の充実）
 - ・**子育て家庭に対する支援の充実**（保育所その他の施設での保育サービスの充実，地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実，情報提供の充実，子育てと仕事の両立支援の推進，経済的な支援）
 - ・**次代を担う世代の育成**（学校の教育環境の整備，家庭・地域における教育力の向上，次代の親の育成，児童生徒の健全育成の推進，地域との協働による子育て支援の推進）
 - ・**援助を必要とする子育て家庭への支援**（児童虐待防止対策の充実，ひとり親家庭等の自立支援の推進，障がい児施策の充実）
 - ・**子育て家庭にやさしい安全・安心な生活環境の整備**（安全で安心して子育てができるまちづくり，子どもを犯罪等の被害から守るための活動，子どもを取り巻く有害環境対策，子どもの交通安全を確保するための活動等の推進）
- （参考）第四次総合計画，ふくやま子育て夢プラン

市民ニーズ（市民アンケートより）

- 市の魅力と課題
子どもを産み，育てられる環境が整っている…課題と感じている人 30.6%
- 求める機能
子育て支援 8.6%（11/17位）
- 求める具体施設
保育所，幼稚園，遊技場（児童館，子ども図書館，屋内公園）等

懇話会意見

- 少子高齢化時代のモデルとなるような都市
- 子育て世代や高齢者にやさしい公園
- 子どもたちが将来大人になり家庭を持った時に住み続けようと思えるまち
- これからの福山を背負っていく若いファミリー層や中高生のためのまちづくり
- 子どもの科学的な学習